

青 空 通 信



NPO法人 ウェルコミュニティ飛騨

空町作業所: 高山市西洞町 3 番地 0577-35-1559

青葉の家: 高山市森下町 2 丁目 58 番地 4 0577-32-8064

平成 21 年(2009 年)10 月 28 日 発行 第 7 号

理事長挨拶

柏木真司

先の衆議院選挙にて民主党が政権を勝ち取り、今後私たちの生活にも様々な変化があることと思います。その中で今一番の関心事は、障害者自立支援法が廃止されることです。平成 18 年 4 月に施行されて以来、度々の改正を経て事業所として何とか先が見えてきた矢先に廃止されるということは、大きな不安を感じずにはられません。

新しい法律が障がい者にとっても事業所にとっても望ましい内容となることを願いながら注視していきたいと思えます。賛否両論あった障害者自立支援法ではありますが、就労支援が重視されたことと自立支援協議会を基盤とした関係機関のネットワークによる支援体制が構築されたことは評価すべきことであり、今後も継続発展させていかななくてはならないと思えます。

ここ飛騨地域には「障がい者就労支援ネットワークHIDA」という組織があります。この組織のメンバーはそれぞれの施設・機関の枠を超えて相互に手を組んで、障がい者の就労支援を行っています。今後も地域の障がい者が一人でも多く働く喜びを持てるようにこのネットワークを活用し就労支援に取り組んでいきたいと思えます

活 動 報 告

ふれあい夏まつり (7 月 18 日)

7 月 18 日の土曜日は、ポッポ公園(総合福祉センター)にて毎年恒例の「ふれあい夏まつり」が開催されました。まだ梅雨明け前のため天気が心配されましたが、時折、ホコリよけにちょうど良い弱雨程度で、強い雨にはならず、とてもありがたかったです。

私たちが日ごろ取り組んでおりますビーズ・裁縫・木工品・カゴ等のアクセサリ、絵葉書、ボカシ肥料や廃食油石鹸他のエコ商品に加えて、朝どれの新鮮野菜等を販売。直接お客さんとのやりとりを通して、作品づくりの勉強にもなり、また励みにもなる絶好の機会です。さらに、他の出店でも趣向をこらした商品が並べられ、あるいはおいしそうな食べ物や飲み物、そしてステージでは唄や踊りの催し物が披露され、とても楽しいイベントでした。

おかげさまで、私たちの作品もたくさんお買い上げいただき、朝どれ野菜も完売！ イベント関係者の皆様、来場のお客様方に感謝です。ありがとうございました。

家族会による「魚釣りゲーム」は子ども達に大人気！ 心温まる企画にみんな大喜び。



夏の調理実習 (7月24日)



年2回の恒例行事・調理実習を7月24日に行いました。事前の買い物もメンバーが実地体験します。当日の献立は「夏野菜のカレーライス」「キュウリと豆腐のバンバンジー風」「牛乳寒天」。全体ミーティングで、料理雑誌を参考にしながら、意見を出し合って決めていきます。どれも上々のできあがり、みんな満足。素揚げにこだわった夏野菜カレーは味わい深く、バンバンジーのタレも大好評、牛乳寒天は甘さ控えめの優しいミルク味。どれも思い出に残る味覚と食感でした。

楽しみながら、料理を覚え、自立につながる調理実習はリクエストの多い行事なので、年2回の実施です。次回は冬の調理実習になります。



親子石けんづくり教室 (7月30日)

7月30日に「高山幼稚園」様にて「親子石けんづくり教室」のお手伝いをさせていただきました。

高山幼稚園では、私たちの作業所で製造・販売しています「ボカシ肥料」をお買い上げいただき、生ゴミ処理や花壇づくり等に役立てていただいています。そのご縁があって、私たちなりに何か恩返しができればと、今回の「石けんづくり教室」が開催されることになりました。

ウェルコミュニティ「空町作業所」「青葉の家」メンバーが実際に園児さんに教える側に立って、一緒に石けんづくりに取り組みました。この日は、石けんの歴史や汚れの落ちる仕組みを勉強したあと、手でこねるタイプの手軽な石けんづくりを実施。メンバーや職員も、かわいい園児さんとともに楽しいひと時を過ごさせていただきました。

10種類以上のハーブパウダーやハーブエキス、炭粉やハチミツ等も混ぜ合わせて、思い思いの色や香りを付けて、世界に一つだけのオリジナルな石けんが出来上がります。しっとりとお肌にやさしい、自分だけの特別な石けん。そして、形もさまざま…家・飛行機・自動車・動物・花などなど、園児さんの豊かな発想にメンバーや職員もビックリ。最後は、ちょっとした発表会を開いて、みんなで見せあいっこ。とても心温まる教室でした。

さて、自分で作った石けんは各ご家庭にお持ち帰りいただきました。ご家族方と一緒に使って楽しむという、もう一つの喜びもあります。

私たちは受託作業や自主製品づくり、地域での行事参加のほか、こうした「教室」のような取り組みも通して、社会に関わらせていただき、逆に恩返しができればと願っております。これからも石けん教室のほか、パソコン教室やアクセサリづくり教室、エコ製品づくり教室などなど、ぜひ、お声をおかけいただければ幸いに思います。よろしくお願い致します。



海水浴 (8月1日)

山へ行くか、海へ行くか、メンバーのミーティングで話し合った結果、今年は海へ出かけることになりました。たいへんありがたいことにNPO法人さんしょうの会「きららハウス」様より海水浴のお誘いをいただき、8月1日、「きららハウス」の皆さまのバスに便乗させていただいて、石川県は千里浜へ。「きららハウス」さんは、私たちと同じく市内の自立支援施設で、パンづくり等に取り組んでみえます。

当日は梅雨がまだ明けておらず、心配した通り雨が降りしきり、海で泳ぐことはできませんでした。それでも、砂浜に出て海水に触れ、潮風を感じることができましたし、砂浜を車が走れるように整備されているため、海のすぐ横をバスで進むことができ、なかなか痛快。きららハウスの皆さまと交流しながら道中を楽しみました。

海水浴のかわりに、近くの温泉付きの温水プール施設へ連れて行ってくださり、プールで泳いだり、すべり台でスリルを楽しんだり、温泉につかって、のんびり、ゆったりとした時間を過ごしました。帰路はバスのカラオケで盛り上がり、「きらら」の皆さまには大変お騒がせをし、またすっかりお世話になりました。便乗させていただいた立場ながら、誠に申し訳ない思いです。

ですが、仲良く、楽しく、そして安全に行ってきたことができ、何よりでした。一番はメンバー一人ひとりの満足な笑顔です。本当にありがとうございました。



近隣交流バーベキュー大会 (8月7日)

8月7日は毎年恒例のバーベキュー大会が行われました。ご近所方との交流を柱に、暑気払いをかねてのバーベキューは、メンバーが何週間も前から楽しみにしている行事です。日ごろからご理解・ご協力をいただいているご近所の皆さま方をバーベキューにお誘いし、食材の準備を含めてメンバーがもてなします。余興が得意な人は出し物で盛り上げます。毎年だんだんと余興が豪華になっているような気がします。おかげで大いに賑わい、楽しい夏の思い出となりました。



とっておきの余興で
大盛況

盆踊り大会に出店 (8月22日)

同じ高山市で福祉施設を運営してみえる飛騨慈光会様で恒例の盆踊り大会が行われました。8月22日、天候に恵まれ、雨の心配もなく、絶好の盆踊り日より。私たちはバザーに出店させていただき、夏の夜を楽しみました。

市内の各施設や会場の山田町内の皆さまにより、たくさんの催し物や出店があり、大賑わい。私たちの商品もアクセサリーを中心に、たくさんのお客様にお買い上げいただきました。感謝です。ふと気づくと、涼しげな風に肌寒さを感じるほど。短い夏が過ぎ、秋が足早に訪れてきそうでした。



24時間テレビ放送の取材 (8月12日ロケ・29日放送)

夏の恒例であります「24時間テレビ」。今年は8月29～30日の土日に放送されました。

ちょうど半年前の2月26日に「24時間テレビ」様よりリフト付き車両・ハッピーバード号を寄贈いただきまして、8月12日に私たちの施設へ中京テレビの撮影スタッフ方が来所されました。私たちの取組みやハッピーバード号の活用状況取材にみえたのです。

施設内での作業の様子が一通り収録され、また、ハッピーバード号で畑へ移動し、スイカやカボチャの収穫等も取材されました。大きなテレビカメラを向けられたり、テレビでご活躍されている前田アナウンサーさんとお話したり、メンバーにとっても貴重な経験となりました。

ハッピーバード号はメンバーの送迎に毎日大活躍。何より感謝の一言です。本当にありがとうございました。

ビデオ学習会 (9月5日)



ハッピーバード号

9月は安全について考える月だといえるかもしれません。なぜなら、
・9月1日 防災の日
・9月6日～ 救急医療週間
・9月9日 救急の日といった記念日などがあり、さらには、
・9月20日～ 動物愛護週間 というものもあります。
そこで、9月5日の土曜日に「ビデオ学習会」を行い、防災や安全について考えたり、動物と人間との絆を確かめ合ったりしました。

第一部「24時間テレビ直前スペシャル」

施設のことが取材・放送された番組をみんなで一緒にふりかえり、感謝の気持ちを新たにしました。

第二部「マリと子犬の物語」

新潟県中越地震の実話をもとに描かれベストセラーとなった絵本「山古志村のマリと三匹の子犬」を映画化した感動作。健気に生きる犬と人間との魂の交流が生んだ奇跡の物語。大地震で無人になった村に取り残されながらも、必死でわが子を守り抜く母犬の強さと優しさが心に残りました。

かわいい子犬たちの写真や、山古志村の素晴らしい風景が見れます

マリと子犬の物語
12年8月1日 全国テレビでCD-ROM



ここの健康フェスティバル (9月19日)

9月19日の土曜日は県民文化ホール未来会館に行き、「ここの健康フェスティバル」に参加しました。

この行事は、岐阜県・岐阜県精神保健福祉協会によって主催され、「精神保健福祉岐阜県大会」として年1回おこなわれており、今年で48回目を数えます。記念式典のあと、映画上映と記念講演があり、また併設の会場にて芸術展とバザーも実施されます。

今年のテーマは「生きてこそ、輝く明日」で、映画は「破片のきらめき - 心の杖として鏡として -」、講演はこの映画の監督・高橋慎二氏。東京都八王子市にある精神科病院のアトリエ教室における心の交流をドキュメンタリーで綴った感動的な映画で、その映画の背景にある高橋監督の思いが語られました。なんとなく、会場に温かくて優しい空気が広がったように感じました。

さて一方、バザーのほうもおかげさまでたくさんお買い上げいただき、また他施設の商品等も今後の参考に色々と拝見させていただき、有意義な一日でした。

飛騨保健所の職員さんをはじめ、関係者方にはたいへんお世話になりました。誠にありがとうございました。

福祉フェスティバル2009 (9月26日)



9月26日の土曜日は福祉フェスティバルが実施されました。場所は総合福祉センターのある「ぼっぼ公園」。福祉関係団体のほか、園芸や音楽療法の団体方も参加され、にぎやかに催し物が続き、大盛況でした。天候にも恵まれ、日中は少し暑いほど。バザーにもたくさんのお客様がみえて、どの販売コーナーも順調な様子でした。

私たちが日ごろお世話になっています園芸福祉サポーターさんや音楽療法の方々、また国際ソロプチミスト様ほか、たくさんの皆様とフェスティバルを通じて交流でき、秋の一日を楽しみました。ありがとうございました。

家族会「青葉の会」では夏まつりに続き、おもちゃ釣りゲームが子どもたちに好評でした。

EMボカシ勉強会 (9月27日)



9月27日(日曜日)に施設職員を対象としたEMボカシ勉強会が実施され、岐阜県内の各務原市は「星の村」という作業所に行ってきました。

「EM」というのは有用微生物群の略称で、酵母菌・乳酸菌・光合成細菌など、いわば善玉菌の集まりです。これを米ヌカ・モミガラに混ぜて発酵させたものがEMボカシであり、生ゴミ処理に利用され、花壇や菜園などの土づくりに使われる資材となります。

私たちの施設では長年このEMボカシづくりに取り組み、主力商品の一つとして、ほぼ安定的に生産できるようになり、施設から持参したEMボカシのサンプルも講師の先生から合格をいただきました。今回の学習会においては、改めて科学的な根拠が確認でき、微生物の世界の奥深さに引き込まれました。より良質のEMボカシ製造には、季節によって細かい水分調整があり、また機密性等の調節にももっと気を配る必要があります、どこまで行っても極めきれないほどです。

こうした学習会は他施設の職員と交流し、お互いに情報交換ができ、刺激しあうことにもなり、たいへん有意義です。また、EMボカシづくりの技術を開発した奥村氏(父親と長男)は同じ岐阜県内の可児市においてEMボカシを利用した野菜づくりに取り組み、漬物加工にも力を入れておられますが、とりわけ今回は、この奥村氏の想いに強く感銘を受けました。この技術をおしみなくオープンにして、何より各地の作業所へ積極的に情報提供し、施設メンバーらが環境活動に関わることで社会貢献ができるよう尽力されてきたとのこと。

そうして、今では全国各地の施設において主力製品となっています。

(私たちのボカシ製造においては、米ヌカを高山米穀様より無償提供いただき、モミガラは地域の農家方からお分けいただいております。改めて感謝です。誠にありがとうございます)



第17回サイコリンピック (10月1日)

毎年恒例のサイコリンピックが岐阜アリーナにて行われました。

50m走やリレーのほか、玉入れや綱引き、障害物競争、パン食い競争などに出場し、楽しみながら、良い汗をかきました。ウルトラクイズや応援ポスターの品評もあり、色々な形で誰もが参加できる大会で、各競技ごと勝ち進めば賞品も手にでき、それぞれに張りきって取り組みました。

私たちの白組は、このところ相手の組に勝てなかったのですが、今年は何の種目でも順当に勝ち点をあげ、大差での優勝となり、みんなで喜びを分かち合いました。ケガもなく無事に行ってきたのが何よりです。充実した一日を過ごすことができました。

地域交流りんご狩り

10月15日の木曜日、久々野町の「もだに農園」さんにて地域交流りんご狩りが行われました。

「せつ城ライオンズクラブ」さん方にお招きいただき、地域のお年寄りや子どもたち、そして各作業所等から約350人が集まり、参加者同士ふれあいながりんご狩りを楽しみました。不思議なことに毎年必ずお天気に恵まれるようで、やはり当日も驚くほどの晴天。素晴らしい快晴の青空でした。

りんご狩りを体験した後は、おいしい豚汁やおにぎり、りんごジュースをいただき、手品や唄、踊りの余興で盛り上がりました。そして、お土産のりんごをバッグに詰めて、大喜びで帰路に。良い思い出の一日となり、心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



その他

補修作業のご奉仕をありがとうございました

9月20日(日曜日)に、永家会様(永家工業様とその協力会社)のボランティアにより、「青葉の家」の屋根や外壁・外階段等の補修・塗装その他の作業を実施していただきました。20名近くの方々が休日返上で作業にかけつけていただき、おかげさまで建物が見違えるほどキレイになりました。

これまで5年続けて施設各所の修繕をしていただきまして、今年が最終年度となり、総仕上げという段階。これまで5年にわたり、通所者の安全性に配慮いただきながら、また景観や雰囲気美しく明るくなるよう、大がかりな手直しをしていただけてきました。ペンキ等の資材代も永家会様が負担され、たいへん恐縮の思いです。本当に助かりました。

感謝しながら、この施設を大切にに使わせていただければと思います。ありがとうございました。



みんなの

作業の紹介



庭木の剪定作業

新たな活動として庭木の剪定作業が始まりました。これまで大きな庭や小さな庭の松やイチョウの木、駐車場のイチイの木などを剪定しました。

今後も継続していきたいと思いますのでご相談ください。



剪定前



剪定後

木工作业

最近は糸ノコを使って作品作りを行っています。パズルやキーホルダーなどの小物を作っています。また、ホームセンターなどで販売している2X4材などを使って簡単な踏み台、ベンチ、机なども作りました。



私たちの活動を支援して下さる方を募集しています

年会費

支援会員 個人 2,000円
団体 10,000円

支援会員の方には、広報等により活動報告をご報告させていただきます。

その他、寄付金等も募集していますので、何卒、ご理解ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

寄付金等振込先

飛騨信用組合 城山支店
普通預金 口座番号・0769440
名義・特定非営利活動法人ウェルコミュニティ飛騨
理事長 柏木真司

お分け下さい

廃食油をお分け下さい

私たちが製造しております「リサイクル石けん」(廃食油石けん)は、おかげさまですっかり地域に定着し、売上も順調に伸び、時には大量注文をいただくこともあります。泥汚れ・油汚れがよく落ちるとたいへん好評です。本当にありがたいことです。

が、実はこのごろ油が足りなくて、製造が追い付きません。もしもよろしければ油をお分けいただけますと誠に助かります。使用後の油のほか、消費期限の切れた油でも構いません。捨てられる油が素晴らしい石けんになって生まれ変わります。お分かりにならないことがあれば、お気軽にご相談ください。